

「読書の秋 Go To 図書館！」

あたりの山々が少しずつ色づき始め秋の気配が感じられる今日この頃、勉強やスポーツに気持ちよく取り組める良い季節になりました。今、図書館は、たくさんの新着本で溢れています。「学校図書館パワーアップ事業」により、各分野に渡り約350冊の図書が隠岐高校図書館に仲間入りしました。また、互助会からの寄贈本としても45冊届いています。秋の夜長にこれらの本との出会いを楽しんでみませんか。それぞれの本は図書館に展示してあります。是非一度図書館に来て手に取り、読みたい本を見つけてください。

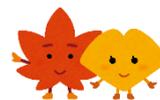


パワーアップ事業からの図書

◎図書委員おすすめの一冊

☆『嫌われる勇氣』 自己啓発の源流「アドラーの教え」(岸見一郎 著)

この本は、「心理学の三大巨頭」と称されるアルフレッド・アドラーという人物の思想について書かれた本です。この本は全て青年と哲人の対話で書かれておりとても読みやすくなっています。アドラー心理学は「人はどうやって幸せに生きられるか」という問いに予想外の答えの連発で、驚かされたり考えさせられたりしました。重要な文章は太字で書かれているので理解もしやすくてとても面白い一冊です。



☆『リバース』 (湊 かなえ 著)

深瀬和久は平凡なサラリーマン。しかし、越智美穂子との出会いによって華やぎ始める。ある日、彼女のもとへ「深瀬和久は人殺しだ」と書かれた告発文が届く。

深瀬は、問題を抱えていたのだ…。どんな問題なのか！？



☆『花咲舞が黙ってない』 (池井戸 潤 著)

ドラマ化もした「花咲舞が黙ってない」の小説版です！ドラマとはちょっと違うストーリーです。短編集なので読みやすいし、スカッとする作品なのでおもしろいです。



☆『島はぼくらと』 (辻村深月 著)

小さな時から離島で一緒に育ってきた朱理、衣花、新、源樹。高校2年生になった4人はそれぞれの進路について悩み始める。大学進学や就職を目指す3人と、家庭の事情で島に残らなければならない衣花。

4人はそれぞれどの道に進むのか…？



◎8月～10月(10月23日現在)学年別貸出数と、個人別貸出数ベスト5

学 年	1 年	2 年	3 年	合 計
貸 出 数	30	35	25	90

個人1位 10冊 (2人)、3位 8冊 (2人)、5位 6冊



互助会からの寄贈本

◎読書感想文校内選考者

年 組	氏 名	感想文題	対象図書
2-1	徳畑 茜	誰にでも書ける	誰にも書ける一冊の本
2-1	中居優陽	忘れてはいけない歴史	この世界の片隅に
2-2	野津蒼依	ふつう	君に向かって咲け
1-2	木瀬春香	キャパの生き方を通して	キャパとゲルタ ふたりの戦場カメラマン

以上4点は第66回読書感想文コンクールに応募しました。

◎2020, 第74回読書週間が始まります。

期間 10月27日(火)~11月9日(月) 標語 **ラストページまで駆け抜けて**



物語に引き込まれラストまで駆け抜ける。早く走り抜けても、のんびり歩いても本は自分のペースで読み進められます。道のりが困難でも、ゴールは待っていてくれる。あなたを待っている物語がきっとあります。



(標語の作者の言葉です。)

本の返却をお願いします。

- 未返却の本が手元にありましたら、図書館の返却ボックスに入れてください。
- 返却ボックスは购买前にも設置しています。
- 本は隠岐高校の宝物です。大切にしましょう。

「子どものころからたくさん本を読んで、自分でものを考えろと言われて育った。両親は、本や政治や、その他いろいろなことについて子どもたちを交えて話し合った。」
ビル・ゲイツ (1955-アメリカ合衆国)



6月までに配架した本のご案内

書 名	著 者	出 版 社
無敵の現代文記述攻略メソッド	小池 陽滋	かんき出版
ちびまる子ちゃんの読書感想文教室	貝田 桃子	集英社
看護の仕事がわかる本	菱沼 典子	日本実業出版社
人前で緊張しなくなるすごい方法	伊藤 丈恭	アスコム
あるかしら書店	ヨシタケ シンスケ	ポプラ社
最終講義一生き延びるための6講	内田 樹	技術評論社
心の病気って何だろう?	松本 卓也	平凡社
大きな鳥にさらわれないよう	川上 弘美	講談社文庫
イラストレーション2020	樺沢 紫苑	サンクチュアリ出版
日本のロゴマーク50年	日本タイポグラフィ協会	パイインターナショナル
感情表現辞典	中村 明	東京堂出版
火花	又吉 直樹	文春文庫
#名画で学ぶ主婦業	田中久美子	宝島社
#名画で学ぶ主婦業 主婦は再びつづやく	田中久美子	宝島社
キングダム 57巻	原 泰久	集英社
日本語をみがく小辞典	森田 良行	角川ソフィア文庫

その他27冊の本が配架されています。